

事業報告

第3分科会		人権教育	
テーマ	子どもたちの「未来」のために「今」できること ～心と心をつなぎ未来を創る～		
趣旨	多様性を認め合い、お互いを尊重し共生していくために、また、子どもたちが安心して成長できる社会を作るために、人権問題への関心を高め、今、私たちができることを「自分事」として捉えるきっかけを作っていきたいと思えます。		
会場	佐久平交流センター	運営担当	全佐久PTA連合会
参加人数	200名	子ども参加者数	29名

担当副実行委員長	矢島 広幸	運営委員長	竹内 由貴
----------	-------	-------	-------

分科会総括

今回の分科会では、有坂栄康先生がご自身の経験を「人権」という視点から丁寧に語られ、その言葉には生活に根ざした「真実の重み」と「温かいまなざし」が込められていました。先生の語りは、人権を尊重するとはどういうことかを静かに、しかし確かな説得力をもって示していました。

参加者からは、「わかりやすく心にしみた」「子どもにも聴かせたい」といった声が多く寄せられました。病氣と向き合いながら希望を見だし続ける先生の姿や、その歩みを支える家族・仲間存在に、多くの人が深い感動と共感を抱きました。また、支援者が思いを代弁するという講演の形式そのものが、人と人がつながり支え合う姿を体現していた点も高く評価されました。

参加者の感想には、「自分を大切にすることが他者を大切にすることの第一歩」「日常への感謝を見つめ直した」「生き方を考え直す機会になった」など、内省や行動の変容につながるものが多く見られました。これは、先生のメッセージが深く心に届き、価値観の転換を促した証といえます。

この講演は、人権教育を「知識として知る」段階から、「自分の生き方や他者との関わりを問い直す」段階へと導くものでした。「生きているだけで価値がある」という人権の根源的な考えを改めて確認する、大変意義深い機会となりました。ここで得た学びを、学校生活や授業づくり、子どもとの関わり、そして私たち自身の日々のふるまいに生かし、誰もが大切にされる環境づくりにつなげていく必要があります。本講演は、研究テーマである「子どもたちの未来のために、今できること」を考えるうえで、極めて実践的で貴重な学びとなりました。

会場



ロビー



講演中



司会者



アトラクション



アトラクション



集合写真



スタッフ写真

